令和6年9月清須市議会定例会会議録

令和6年8月29日、令和6年9月清須市議会定例会は、清須市議会議事堂に招集された。

1. 開会時間

午前 9時30分

2. 出席議員

1番	伊藤奈美	2番	浅妻奈々子
3番	齊藤紗綾香	4番	土本千亜紀
5番	松岡繁知	6番	山内徳彦
7番	富田雄二	8番	松川秀康
9番	大塚祥之	10番	小崎進一
11番	飛永勝次	12番	野々部 享
13番	岡山克彦	14番	林 真子
15番	加藤光則	16番	高橋哲生
17番	伊藤嘉起	18番	久野 茂
19番	浅井泰三	20番	成田義之
21番	天野武藏		

計 21名

3. 欠席議員

なし

4. 地方自治法第121条の規定により会議事件説明のため出席した者は、次のとおりである。

市		長	永	田	純	夫	
副	市	長	葛	谷	賢	二	
教	育	長	天	埜	幸	治	
企	画	部	長	河	口	直	彦
総	務	部	長	岩	田	喜	一

危機管理部 長	飯田 英 晴
市民環境部 長	石田 隆
健康福祉部 長	丹羽 久 登
建設部 長	長谷川 久 高
会計管理者	三輪 好 邦
教育部 長	石黒 直 人
監査委員事務局 長	吉田 敬
企画部次長兼企画政策課 長	林 智 雄
総務部次長兼総務課 長	檜本 雄 介
総務部次長兼収納課 長	辻 清 岳
危機管理部次長兼危機管理課 長	舟橋 監 司
市民環境部次長兼生活環境課 長	松村 和 浩
健康福祉部次長兼児童保育課 長	吉野 厚 之
健康福祉部次長兼健康推進課 長	古川 伊都子
建設部次長兼新清洲駅周辺まちづくり課 長	前田 敬 春
建設部 参 事	片野 裕 介
人事秘書課 長	岡田 善 紀
企業誘致課 長	沢田 茂
財政課 長	服部 浩 之
財産管理課 長	所 邦 治
税務課 長	酒井 雄 一郎
市民課 長	藏城 浩 司
保険年金課 長	浅野 英 樹
産業課 長	梶浦 庄 治
西枇杷島市民サービスセンター所 長	下村 辰 之
清洲市民サービスセンター所 長	石田 讓
春日市民サービスセンター所 長	佐藤 嘉 起
社会福祉課 長	鈴木 許 行
高齢福祉課 長	石田 嘉 子

こども家庭課長	寺社下葉子
土木課長	村瀬巧
都市計画課長	鈴木雅貴
上下水道課長	伊藤嘉規
会計課長	平野嘉也
学校教育課長	瀬尾光
生涯学習課長	大沼賀敬
スポーツ課長	高山敬
学校給食センター管理事務所長	吉田剛
監査課長	木全信行

5. 本会議に職務のために出席した者の職、氏名

議会事務局長	後藤邦夫
議会事務局次長兼議事調査課長	鹿島康浩
議事調査課係長	炭竈愛子

6. 会議事件は、次のとおりである。

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
- 日程第 2 会期の決定について
- 日程第 3 諸般の報告について
- 日程第 4 認定第 1 号 令和 5 年度清須市一般会計決算認定について
- 日程第 5 認定第 2 号 令和 5 年度清須市国民健康保険特別会計決算認定について
- 日程第 6 認定第 3 号 令和 5 年度清須市介護保険特別会計決算認定について
- 日程第 7 認定第 4 号 令和 5 年度清須市後期高齢者医療特別会計決算認定について
- 日程第 8 認定第 5 号 令和 5 年度清須市水道事業決算認定について
- 日程第 9 認定第 6 号 令和 5 年度清須市下水道事業決算認定について
- 日程第 10 議案第 40 号 清須市税条例の一部を改正する条例案
- 日程第 11 議案第 41 号 清須市国民健康保険条例の一部を改正する条例案
- 日程第 12 議案第 42 号 清須市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利

用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案

- 日程第13 議案第43号 清須市下水道条例の一部を改正する条例案
- 日程第14 議案第44号 名古屋都市計画事業新清洲駅北土地区画整理事業の事業委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について
- 日程第15 議案第45号 愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について
- 日程第16 議案第46号 市道路線の認定及び廃止について
- 日程第17 議案第47号 令和5年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分について
- 日程第18 議案第48号 令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）案
- 日程第19 議案第49号 令和6年度清須市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案
- 日程第20 議案第50号 令和6年度清須市介護保険特別会計補正予算（第1号）案
- 日程第21 議案第51号 令和6年度清須市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案
- 日程第22 報告第5号 令和5年度清須市決算の健全化判断比率等について
- 日程第23 報告第6号 専決処分した事件（和解すること）の報告について
- 日程第24 報告第7号 専決処分した事件（損害賠償の額を定め、和解すること）の報告について
- 日程第25 発議第2号 定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）
- 日程第26 請願第1号 「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准をするよう清須市議会からの意見書」提出を求める請願
- 追加日程第1 議案第52号 動産の取得について（追認）

（ 傍聴者 1名 ）

(時に午前 9時30分 開会)

議長 (岡山 克彦君)

おはようございます。

令和6年9月清須市議会定例会を開会いたします。

浅井議員より少し遅れるとの連絡がありましたことをお伝えいたします。

ただいまの出席議員数は、20名でございます。

これより、本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配付のとおりでございます。

日程第1、「会議録署名議員の指名」を行います。

本定例会の会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、1番伊藤奈美議員、2番浅妻議員を指名いたします。

日程第2、「会期の決定について」を議題といたします。

お諮りします。

本定例会の会期は、本日から9月26日までの29日間といたしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長 (岡山 克彦君)

異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から9月26日までの29日間と決定いたします。

日程第3、「諸般の報告」をいたします。

議会閉会中の動向について報告いたします。

お手元に配付してあります議員活動状況報告書のとおりでありますので、朗読は省略いたします。

次に、市長から、地方自治法第243条の3第2項の規定により、尾張土地開発公社の令和5年度決算に関する書類が、教育委員会から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、清須市教育委員会の令和5年度分の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書が、監査委員から、地方自治法第235条の2第3項の規定により、令和6年5月分から7月分までの現金出納の検査の結果について及び同法第199条

第9項の規定により、財政援助団体の監査結果報告が、それぞれ議会宛てに提出されておりますので、受理したことを報告いたします。

以上で、諸般の報告を終わります。

お諮りいたします。

これより議案の審議に入りますが、日程第4、認定第1号から日程第24、報告第7号までを一括議題とし、市長から提案理由の説明を受けます。日程第4、認定第1号から日程第9、認定第6号までの認定案件及び日程第22、報告第5号につきましては、代表監査委員から監査結果及び所見の説明を受けた後、日程第4、認定第1号から日程第9、認定第6号までの認定案件につきましては、担当部長より内容の説明を受けたいと思います。日程第10、議案第40号から日程第21、議案第51号までの12議案につきましては、担当部長から内容の説明を受けます。日程第22、報告第5号から日程第24、報告第7号までの報告案件につきましては、担当部長より内容の報告を受けます。

なお、日程第4、認定第1号から日程第21、議案第51号までの18案件につきましては、本日は提案理由及び内容説明を受けるのみで散会し、質疑のある方は9月2日正午までに発言通告書を提出していただき、9月5日の本会議において質疑を行った後、各常任委員会に審査を付託したいと思います。

以上のような進め方でございますが、これに御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

議長(岡山 克彦君)

異議なしと認めます。

よって、ただいま申し上げました方法で行うことに決定いたします。

日程第4、認定第1号から日程第24、報告第7号までを一括議題とします。

市長より一括して提案理由の説明を求めます。

永田市長。

< 市長(永田 純夫君)登壇 >

市長(永田 純夫君)

おはようございます。

本日は、令和6年9月清須市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、御多忙にもかかわらず、また、台風10号の影響により、足元の悪い中、御出席を賜り誠に

ありがとうございます。

今定例会に提出いたします案件は、市長提出議案等のとおり、令和5年度清須市一般会計等の決算認定6件、条例の一部改正案4件、協定の一部変更等4件、令和6年度清須市一般会計等の補正予算案4件その他令和5年度清須市決算の健全化判断比率等など3件でございます。

それでは、各案件につきまして、順次、提案理由を説明いたします。

認定第1号「令和5年度清須市一般会計決算認定について」につきましては、地方自治法の規定により、議会の認定に付するものでございます。

それでは、決算の内容を説明いたします。

令和5年度予算に計上いたしました事業は、議員各位を始め市民の皆様の御協力をいただき、当初の目的を達成することができました。また、監査委員の決算審査も無事に終了いたしました。深く感謝を申し上げる次第でございます。

一般会計の決算額は、歳入総額315億428万860円、歳出総額302億5,014万415円、実質収支額9億8,005万1,000円でありました。

歳入の根幹であります市税は127億4,771万7,318円であり、おおむね予算額どおりとなりました。納税者各位の御理解の賜物と深くお礼を申し上げます。

地方交付税につきましては、普通交付税で31億558万1,000円、特別交付税で2億6,697万6,000円を確保することができました。

市債につきましては、防災センター整備事業債や新清洲駅北土地地区画整理事業債などにより、合計で17億900万円を借り入れました。

歳出の主な内容を申し上げます。

まず、安心・安全の確保に向けて、五条川右岸の清洲庁舎跡地に、指定避難所及び防災資機材等備蓄倉庫としての機能を有する五条川防災センターを整備し、令和6年7月から供用を開始いたしました。

つぎに、子育て支援につきましては、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和5年7月から通院に係る子ども医療の対象者を高校生等まで拡大いたしました。くわえて、令和5年9月から11月までの3か月間の学校給食費の無償化を行ったほか、学校給食に係る原材料の価格高騰分を公費負担するなど、物価高騰の影響を受ける子育て世帯の家計を支援してまいりました。

健康づくりでは、帯状疱疹の発症及び重症化を予防するため、発症率が高くなる50歳以上の方を対象に、予防接種費用の一部助成を開始いたしました。

さらに、昨年度に引き続き清須げんき商品券を発行するなど、物価高騰の影響を受ける市内経済の活性化にも努めてまいりました。

このほか、市発展の基礎となる下水道整備事業や土地区画整理事業などの都市インフラ基盤の整備につきましても、限られた予算の中、予定どおり進めることができました。

今後も様々な行政ニーズへの対応が求められる一方で、社会保障関係費を始めとする義務的経費の増加などにより、厳しい行財政運営が続くことが予想されます。議員各位を始め関係各位の御理解と御支援を賜りつつ、努力してまいり所存でございます。

認定第2号「令和5年度清須市国民健康保険特別会計決算認定について」につきましては、地方自治法の規定により、議会の認定に付するものでございます。

それでは、決算の内容を説明いたします。

国民健康保険特別会計の決算額は、歳入総額6億2,876万7,195円、歳出総額6億1,679万3,939円、実質収支額8,197万3,000円でありました。

歳入のうち国民健康保険税は1億2,955万7,211円を確保いたしました。引き続き特定健康診査・特定保健指導などの疾病予防を実施するなど、国民健康保険特別会計の健全性の確保に努めてまいります。

認定第3号「令和5年度清須市介護保険特別会計決算認定について」につきましては、地方自治法の規定により、議会の認定に付するものでございます。

決算の内容を説明いたします。

介護保険特別会計の決算額は、歳入総額5億2,612万7,041円、歳出総額5億1,960万6,086円、実質収支額8,652万円でありました。

介護が必要な状態になっても自宅や介護保険施設で安心して暮らすことができ、家族の介護負担を軽減することができるよう保険制度の趣旨に沿い、健全な運営に努めてまいります。

認定第4号「令和5年度清須市後期高齢者医療特別会計決算認定について」につきましては、地方自治法の規定により、議会の認定に付するものでございます。

決算の内容を説明いたします。

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入総額1億6,222万4,763円、歳出総額1億6,033万6,453円、実質収支額1,188万8,000円でありました。

医療制度の趣旨に沿い、高齢期における医療の確保を図るため、広域連合により、適切な医療の給付を行い、今後も保険の向上及び高齢者の福祉の推進に努めてまいります。

認定第5号「令和5年度清須市水道事業決算認定について」につきましては、地方公営企業法の規定により、議会の認定に付するものでございます。

決算の内容を説明いたします。

収入では、給水収益や受託工事収益などの収益的収入が2億2,314万3,643円、工事負担金などの資本的収入が1,293万2,200円でありました。支出では、原水及び浄水費などの収益的支出が2億36万578円、建設改良費などの資本的支出が1億1,589万1,994円でありました。

認定第6号「令和5年度清須市下水道事業決算認定について」につきましては、地方公営企業法の規定により、議会の認定に付するものでございます。

決算の内容を説明いたします。

収入では、下水道使用料や雨水処理負担金などの収益的収入が16億7,309万5,007円、企業債や国庫補助金などの資本的収入が18億289万1,100円でありました。支出では、管渠やポンプ場の維持管理費を始めとする収益的支出が15億1,911万5,569円、汚水管の建設改良費を始めとする資本的支出が24億1,205万394円でありました。

議案第40号「清須市税条例の一部を改正する条例案」につきましては、地方税法の一部改正に伴い、市民税の寄附金税額控除の規定の整備等を行うため、条例の一部を改正することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第41号「清須市国民健康保険条例の一部を改正する条例案」につきましては、国民健康保険法の一部改正に伴い、過料に係る規定の削除等を行うため、条例の一部を改正することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第42号「清須市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案」につきましては、生活保護法の一部改正に伴い、規定を整理するため、条例の一部を改正することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第43号「清須市下水道条例の一部を改正する条例案」につきましては、アナログ規制の見直しを図るとともに、下水道法施行令の一部改正に伴い、規定を整理するため、条例の一部を改正することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第44号「名古屋都市計画事業新清洲駅北土地区画整理事業の事業委託に関する基本協定

の一部を変更する協定の締結について」につきましては、名古屋都市計画事業新清洲駅北土地区画整理事業の事業委託に関する基本協定の一部を変更する協定を締結することについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第45号「愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について」につきましては、愛知県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて、関係地方公共団体と協議するため、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第46号「市道路線の認定及び廃止について」につきましては、市道停車場線の一部を県道へ移管することによる道路の改築等に伴い、市道路線の認定及び廃止を行うことについて、道路法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第47号「令和5年度清須市下水道事業未処分利益剰余金の処分について」につきましては、令和5年度清須市水道事業未処分利益剰余金を処分することについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

議案第48号「令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）案」につきましては、市内小学校の特別教室空調設備設置事業の一部において、導入する空調設備を電気式からガス式に変更するほか、清洲ふるさとのやかたのトイレを改修するなど、所要の補正を行うことといたしました。

また、決算剰余金などの財源を基に、今まで予定していた財政調整基金からの繰入れの一部を取りやめることについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

補正額は3億6,822万8,000円を追加し、予算の総額は310億339万5,000円となります。

議案第49号「令和6年度清須市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案」につきましては、前年度決算に伴う精算を行うとともに、令和6年度の納付額が確定した事業費納付金に係る所要の補正を行うことについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

補正額は6,268万7,000円を追加し、予算の総額は63億3,554万6,000円となります。

議案第50号「令和6年度清須市介護保険特別会計補正予算（第1号）案」につきましては、前年度決算に伴う精算を行うとともに、令和4年度に発生した非課税事業における消費税の誤払について、事業者から返還を受けた上で国県支出金の精算を行うなど、所要の補正を行うことについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

補正額は8,934万9,000円を追加し、予算の総額は53億5,516万9,000円となります。

議案第51号「令和6年度清須市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案」につきましては、前年度決算に伴う精算に係る所要の補正を行うことについて、地方自治法の規定により、議会の議決を求めるものでございます。

補正額は3,198万5,000円を追加し、予算の総額は19億1,949万円となります。

報告第5号「令和5年度清須市決算の健全化判断比率等について」につきましては、令和5年度清須市決算の健全化判断比率及び資金不足比率について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、監査委員の意見を付けて議会に報告するものでございます。

本市における一般会計等の実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率及び将来負担比率の四つの指標によって判断される健全化判断比率と水道事業会計及び下水道事業会計の資金不足比率は、いずれも早期の健全化が求められる基準を下回っております。

報告第6号「専決処分した事件（和解すること）の報告について」につきましては、公用車の事故について、地方自治法の規定により、議会に報告するものでございます。

報告第7号「専決処分した事件（損害賠償の額を定め、和解すること）の報告について」につきましては、道路管理上の瑕疵（かし）に係る事故について、地方自治法の規定により、議会に報告するものでございます。

以上、簡単ではありますが、提案理由の説明とさせていただきます。

詳細につきましては、担当者から説明させますので、十分に御審議の上、御賛同を賜りますようお願いを申し上げます。

議長（岡山 克彦君）

提案理由の説明が終わりました。

つぎに、日程第4、認定第1号から日程第9、認定第6号までの決算認定及び日程第22、報告第5号について、黒川代表監査委員より各案件に係る意見として、監査結果及び所見の説明を求めます。

説明は、発言席でお願いいたします。

黒川代表監査委員。

< 代表監査委員（黒川 了一君）登壇 >

代表監査委員（黒川 了一君）

ただいま議長より指名のありました代表監査委員の黒川了一であります。

先般、地方自治法第233条第2項、同法第241条第5項の規定及び地方公営企業法第30条第2項の規定に基づき、市長より審議に付されました令和5年度一般会計・特別会計歳入歳出決算、基金運用状況、水道事業会計決算及び下水道事業会計決算の審議並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項、同法第22条第1項の規定に基づき、令和5年度決算の健全化判断比率及び資金不足比率の審議につきまして、監査委員を代表して意見を述べさせていただきます。

去る6月28日から8月9日までを令和5年度清須市水道事業会計決算及び下水道事業会計決算、7月19日から8月9日までを令和5年度清須市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び各基金運用状況と決算の健全化判断比率等につきまして、浅井泰三監査委員と共に審査いたしました。決算審査における包括的な意見を記載しております、清須市決算審査意見書に沿って意見を申し上げます。

タブレットのmoreNOTEの設定を1画面表示にさせていただき、意見書の1ページを御覧ください。

はじめに、令和5年度清須市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況の審査意見についてであります。

清須市決算審査意見書の1ページを御覧ください。

第4、審査の結果につきましては、令和5年度の清須市一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計の決算及び基金の運用は、いずれも適正でありました。

2ページを御覧ください。

令和5年度清須市一般会計及び特別会計を合わせた歳入決算総額は約446億4,140万円、歳出決算総額は約432億688万円、歳入歳出差引額は約14億3,452万円で、前年度に比べ歳入は約4億5,318万円の減少となっております。また、実質収支額は、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源約2億7,409万円を控除して約11億6,043万円となっており、前年度に比べ約4億9,049万円減少しています。

3ページを御覧ください。

財政分析であります。

主要な財政分析指標は、財政力指数0.78、財政構造の弾力性を示す経常収支比率は91.8、実質収支比率は5.6%、4ページの自主財源比率は54.7%となっております。下段にあ

ります地方債の状況につきましては、社会福祉施設整備事業債など17億900万円を借入れ、元金約21億8,119万円を償還し、令和5年度末現在高は約186億4,297万円であります。

5ページを御覧ください。

一般会計の総括であります。

歳入決算額は約315億428万円、歳出決算額は約302億5,014万円で、前年度に比べ歳入は約6億511万円、歳出は約3億8,545万円減少しています。また、実質収支額は、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源約2億7,409万円を控除して約9億8,005万円となっています。前年度に比べ約3億1,048万円減少しています。

6ページを御覧ください。

歳入の款別の決算状況であります。

予算現額に対する収入率は94.7%、調定額に対する収入率は93.8%でありました。

7ページを御覧ください。

歳入決算額の款別前年度比較です。

繰入金、地方交付税などが増加し、市債、繰越金などが減少しています。

8ページを御覧ください。

市税を始めとする自主財源は約172億2,118万円で、前年度に比べ約1億5,986万円、0.9%減少しています。自主財源のうち、市税が74.0%を占めています。

9ページを御覧ください。

歳出決算額約302億5,014万円、予算現額に対する執行率は91.0%で、翌年度繰越額を差し引いた不用額は約9億8,620万円となっています。

10ページを御覧ください。

歳出決算額の款別前年度比較です。

民生費、消防費などが増加し、教育費、総務費などが減少しています。

11ページを御覧ください。

性質別経費の構成比率につきましては、義務的経費41.3%、投資的経費13.1%、その他の経費が45.6%です。

特別会計の状況につきましては、32ページから国民健康保険特別会計、介護保険特別会計及び後期高齢者医療特別会計ごとに歳入決算額、歳出決算額、歳入歳出差引額等について記載して

あります。

38ページからは、公有財産、有価証券などの財産について、決算年度中の増減高及び決算年度末の現在高等について記載してあります。

40ページを御覧ください。

基金についてであります。

決算年度中の増減高につきまして、積立額は約11億5,379万円、取崩額は約10億7,992万円で、決算年度末現在高は約68億2,448万円となっており、前年度末現在高に比べ約7,387万円増加しています。

41ページを御覧ください。

まとめを記載しています。下から2行目を御覧ください。

本市の財政状況は、市税収入の大幅な増加が見込めない中で、社会保障関係費の増加など様々な財政需要に対応していく必要があり、厳しい財政運営が予想されるため、積極的な財源確保に努め、今後も効率的、計画的な財政運営が望まれるところであります。

歳入の根幹をなす市税全体では、前年度に比べ、ほぼ同額となっています。市税の収納率は前年度を若干上回り、収入未済額、不納欠損額はともに前年度を下回る結果となりました。しかし、収入未済額は依然として多額であることから、滞納発生の防止、計画的な徴収を行い、収納率の向上を図ってください。

今後も限られた財源の中で、市民の安全・安心にとって必要不可欠な事業・施策を着実に推進することが必要であります。将来にわたって持続可能で充実した市民サービスを提供するため、歳入確保と行財政改革を推進し、第2次総合計画に掲げる「水と歴史に織りなされた安心・快適で元気な都市」を目指して、着実な行政運営を期待するものであります。

つぎに、水道事業会計決算審査についてであります。

49ページ中段を御覧ください。

第4、審査の結果につきましては、決算書類及び決算附属書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、経営成績及び財政状況を適正に表示していると認められました。

はじめに、業務実績であります。令和6年3月31日現在の給水人口は8,590人で、給水区域内人口に対する普及率は99.8%となっています。

50ページを御覧ください。

予算の執行状況についてであります。

収益的収入の水道事業収益決算額は約2億2,314万円で、予算額に対し94.8%の収入率でありました。また、収益的支出の水道事業費用決算額は約2億36万円で、予算額に対し83.8%の執行率でありました。

資本的収入決算額は約1,293万円、次ページ、資本的支出決算額は約1億1,589万円で、資本的支出額の不足額約1億296万円は過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、建設改良積立金で補填されています。

52ページを御覧ください。

経営収支の状況についてであります。

本年度の経営収支は総収益約2億545万円から総費用約1億8,705万円を差し引いた額約1,839万円の純利益となっています。

54ページを御覧ください。

財政状況についてであります。

資産は約20億688万円です。負債と資本の合計も同額で、このうち資本が約12億1,815万円で、60.7%を占めています。

以上が、令和5年度水道事業会計決算書類及び附属書類を審査した結果の概要であります。

55ページを御覧ください。

まとめを記載しています。下から7行目を御覧ください。

今後の事業経営にあたっては、計画的・効率的で持続可能な水道サービスの提供が求められます。水道は大切なライフラインであり、今後も多額の資金が必要となります。引き続き水道料金の収納確保、経費節減など効率的な企業経営に取り組むとともに、市域における水道事業の一本化に向けた対策と協議を進め、安心安全で良質な水道水の安定供給と水道事業の適正運営に努められるよう期待します。

次に、下水道事業会計決算審査についてであります。

61ページ中段を御覧ください。

第4、審査の結果につきましては、決算書類及び決算附属書類はいずれも関係法令に準拠して作成されており、経営成績及び財政状況を適正に表示していると認められました。

はじめに、業務実績であります。令和6年3月31日現在の処理区域内人口は2万3,399人で、行政区域内人口の年度末に対する普及率は34.1%となっています。

62ページを御覧ください。

予算の執行状況であります。

収益的収入の下水道事業収益決算額は約16億7,310万円で、予算額に対し98.5%の収入率でした。また、収益的支出の下水道事業費用決算額は約15億1,912万円で、予算額に対し93.8%の執行率でありました。資本的収入決算額は約18億289万円、次ページ、資本的支出決算額は約24億1,205万円で、資本的支出額の不足額約6億916万円は過年度分損益勘定留保資金、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、繰越工事資金で補填されています。

63ページ下段から次ページを御覧ください。

3の経営収支の状況についてであります。

本年度の経営収支は、総収益約15億6,004万円から総費用約14億9,955万円を差し引いた額約6,048万円の純利益となっています。

65ページ中段を御覧ください。

4の財政状況についてであります。

資産は約323億9,990万円です。負債と資本の合計も同額で、このうち負債は300億9,979万円で、92.9%を占めています。

以上が、令和5年度下水道事業会計決算書類及び附属書類を審査した結果の概要であります。

66ページにまとめを記載しております。

下から4行目を御覧ください。

今後の事業経営に当たっては、下水道接続率の向上、経費節減など企業経営に取り組み、災害に対する備えを強化するとともに、持続可能な経営基盤の確立と効率化を図り、将来を見据えた下水道事業運営に取り組んでください。また、生活環境の向上と公共用水域の水質保全にも期待しています。

つぎに、72ページを御覧ください。

令和5年度清須市健全化判断比率審査意見でございます。

審査の結果、実質赤字比率及び連結実質赤字比率につきましては、一般会計及び特別会計の実質収支が黒字であるため、比率は表示されません。赤字となっていないので、問題ないと認められます。

実質公債費比率については2.3%で、早期健全化基準を大きく下回っており、問題ないと認められます。

将来負担比率につきましては、将来負担額に充当可能な財源額が将来負担額を上回っているため、比率は表示されません。問題ないと認められます。

つぎに、74ページを御覧ください。

令和5年度清須市資金不足比率審査意見でございます。

水道事業会計及び下水道事業会計については、資金不足となっていないため、比率は表示されませんでした。問題ないと認められます。

以上をもちまして、令和5年度清須市一般会計・特別会計、令和5年度清須市水道事業会計及び令和5年度清須市下水道事業会計の決算審査、令和5年度清須市健全化判断比率審査及び令和5年度清須市資金不足比率審査の意見といたします。

議長（岡山 克彦君）

監査結果及び所見の説明が終わりましたので、ここで代表監査委員の退席を許可いたします。

< 代表監査委員（黒川 了一君）退席 >

日程第4、認定第1号「令和5年度清須市一般会計決算認定について」、会計管理者より内容の説明を求めます。

三輪会計管理者。

< 会計管理者（三輪 好邦君）登壇 >

会計管理者（三輪 好邦君）

会計管理者、三輪です。

認定第1号について御説明いたします。

それでは、タブレットのmoreNOTEの設定は1画面表示のまま、令和5年度清須市歳入歳出決算書の1ページを御覧ください。

認定第1号

令和5年度清須市一般会計決算認定について

令和5年度清須市一般会計決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、別冊監査委員の意見を付けて議会の認定に付する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

2ページ、3ページを御覧ください。

令和5年度清須市一般会計歳入歳出決算書です。

はじめに、歳入について御説明いたします。

1 款市税、予算現額 1 2 7 億 5, 6 0 0 万 4, 0 0 0 円、収入済額 1 2 7 億 4, 7 7 1 万 7, 3 1 8 円、不納欠損額 3, 3 6 1 万 4 3 1 円、収入未済額 2 億 7, 1 3 5 万 2, 5 1 5 円、1 項市民税から 5 項都市計画税までです。

2 款地方譲与税、予算現額 1 億 7, 6 0 0 万円、収入済額 1 億 7, 4 2 1 万 9, 0 0 0 円、1 項地方揮発油譲与税から 3 項森林環境譲与税までです。

3 款利子割交付金、予算現額 4 0 0 万円、収入済額 4 6 5 万 6, 0 0 0 円、1 項利子割交付金です。

4 款配当割交付金、予算現額 9, 0 0 0 万円、収入済額 9, 6 7 8 万 7, 0 0 0 円、1 項配当割交付金です。

5 款株式等譲渡所得割交付金、予算現額 8, 3 0 0 万円、収入済額 9, 9 8 6 万 8, 0 0 0 円、1 項株式等譲渡所得割交付金です。

6 款法人事業税交付金、予算現額 2 億 8 0 0 万円、収入済額 2 億 1, 3 8 6 万 4, 0 0 0 円、1 項法人事業税交付金です。

7 款地方消費税交付金、予算現額 1 6 億 4, 3 0 0 万円、収入済額 1 6 億 5, 1 1 5 万 6, 0 0 0 円、1 項地方消費税交付金です。

8 款自動車取得税交付金、予算現額 1, 0 0 0 円、収入済額 3 3 万 7, 1 7 5 円、1 項自動車取得税交付金です。

9 款環境性能割交付金、予算現額 4, 3 0 0 万円、収入済額 4, 2 2 1 万 7, 1 5 5 円、1 項環境性能割交付金です。

1 0 款地方特例交付金、予算現額 1 億 1, 9 0 6 万 7, 0 0 0 円、収入済額 1 億 2, 0 0 9 万 3, 0 0 0 円、1 項地方特例交付金と 2 項新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金です。

1 1 款地方交付税、予算現額 3 1 億 5, 5 5 8 万 1, 0 0 0 円、収入済額 3 3 億 7, 2 5 5 万 7, 0 0 0 円、1 項地方交付税で、主なものは、普通交付税 3 1 億 5 5 8 万 1, 0 0 0 円です。

4 ページ、5 ページを御覧ください。

1 2 款交通安全対策特別交付金、予算現額 1, 2 0 0 万円、収入済額 9 0 3 万円、1 項交通安全対策特別交付金です。

1 3 款分担金及び負担金、予算現額 1 億 9, 2 1 4 万 7, 0 0 0 円、収入済額 1 億 6,

958万9,864円、1項負担金です。

14款使用料及び手数料、予算現額2億9,497万7,000円、収入済額3億390万5,087円、1項使用料と2項手数料です。

15款国庫支出金、予算現額61億575万4,151円、収入済額49億4,486万242円、1項国庫負担金から3項国庫委託金までです。主なものは、1項国庫負担金は、新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金で、繰越事業充当財源を含む7,098万1,944円です。

2項国庫補助金は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金3億1,529万円や物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金4億6,106万7,000円などです。

16款県支出金、予算現額18億8,575万3,000円、収入済額18億4,445万3,356円、1項県負担金から4項県交付金までです。

17款財産収入、予算現額5,039万7,000円、収入済額5,615万5,279円、1項財産運用収入と2項財産売払収入です。

18款寄附金、予算現額2億1,171万5,000円、収入済額1億8,997万1,741円、1項寄附金です。

19款繰入金、予算現額12億2,645万円、収入済額12億2,644万9,136円、1項特別会計繰入金と2項基金繰入金です。主なものは、庁舎整備基金繰入金9,000万円や子ども育み施設基金繰入金1億円など、2項基金繰入金です。

20款繰越金、予算現額14億7,380万435円、収入済額14億7,380万556円、1項繰越金です。

21款諸収入、予算現額11億1,651万8,678円、収入済額10億5,359万3,951円、1項延滞金、加算金及び過料から6ページ、7ページを御覧ください。3段目の5項雑入までです。

22款市債、予算現額24億500万円、収入済額17億900万円、1項市債です。主なものは、防災センター整備事業債2億2,200万円、体育施設整備事業債2億1,400万円や臨時財政対策債1億9,000万円などです。

歳入合計です。予算現額332億5,216万5,264円、収入済額315億428万860円、不納欠損額3,443万9,811円、収入未済額20億5,044万9,317円となりました。

8ページ、9ページを御覧ください。

つぎに、歳出について御説明いたします。

1款議会費、予算現額2億3,653万3,000円、支出済額2億3,025万568円、1項議会費です。主なものは、議会事務費656万2,794円です。

2款総務費、予算現額34億6,974万7,000円、支出済額33億4,732万8,506円、1項総務管理費から6項監査委員費までです。主なものは、庁舎整備基金費5億54万8,537円や義務教育施設整備基金費1億13万764円などの1項総務管理費です。

3款民生費、予算現額139億6,279万7,000円、支出済額128億7,584万5,575円、1項社会福祉費から4項災害救助費までです。主なものは、1項社会福祉費は、物価高騰緊急支援給付金費6億3,561万8,228円や子ども医療費支給費5億148万2,797円などです。2項児童福祉費は、保育園整備費1億9,016万3,656円です。

4款衛生費、予算現額26億4,282万4,151円、支出済額24億5,571万8,370円、1項保健衛生費から3項上水道費までです。主なものは、新型コロナウイルス予防接種費繰越明許費を含み1億3,753万8,321円で、1項保健衛生費です。

5款労働費、予算現額201万7,000円、支出済額200万円、1項労働諸費です。

6款農林水産業費、予算現額1億7,191万9,858円、支出済額1億6,724万3,556円、1項農業費です。

7款商工費、予算現額6億9,182万円、支出済額5億6,174万4,052円、1項商工費です。主なものは、清洲公園駐車場整備費1億3,517万2,182円です。

8款土木費、予算現額47億1,257万2,255円、支出済額38億8,400万6,918円、1項土木管理費から4項都市計画費までです。主なものは、2項道路橋梁費は、橋梁維持補修費繰越明許費を含み1億1,240万9,100円です。4項都市計画費は、新清洲駅北土地区画整備費繰越明許費を含み5億1,159万8,074円、新清洲駅付近鉄道高架費繰越明許費を含み9億126万6,623円や公共下水道事業費11億3,428万5,000円などです。

10ページ、11ページを御覧ください。

9款消防費、予算現額15億8,198万9,000円、支出済額11億9,918万7,032円、1項消防費です。主なものは、(仮称)五条川防災センター整備費2億6,080万3,905円です。

10 款教育費、予算現額 35 億 2,593 万 1,000 円、支出済額 33 億 280 万 1,875 円、1 項教育総務費から 6 項保健体育費までです。主なものは、2 項小学校費は、小学校整備費 1 億 2,002 万 1,244 円です。3 項中学校費は、中学校整備費 9,953 万 5,126 円です。6 項保健体育費は、清洲勤労福祉会館整備費 1 億 6,847 万 800 円と新川地域文化広場整備費 1 億 5,349 万 6,718 円などです。

11 款公債費、予算現額 22 億 2,401 万 5,000 円、支出済額 22 億 2,401 万 3,963 円、1 項公債費です。

12 款予備費、予算現額 3,000 万円、1 項予備費です。

歳出合計です。予算現額 332 億 5,216 万 5,264 円、支出済額は 302 億 5,014 万 415 円となりました。翌年度繰越額は 20 億 1,582 万 1 円です。

最後に、歳入歳出差引残額です。歳入歳出差引残額は、12 億 5,414 万 445 円となりました。なお、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、9 億 8,005 万 1,000 円です。

認定第 1 号の説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

日程第 5、認定第 2 号「令和 5 年度清須市国民健康保険特別会計決算認定について」及び日程第 7、認定第 4 号「令和 5 年度清須市後期高齢者医療特別会計決算認定について」の 2 議案について、市民環境部長より内容の説明を求めます。

石田市民環境部長。

< 市民環境部長（石田 隆君）登壇 >

市民環境部長（石田 隆君）

市民環境部長の石田です。

認定第 2 号について御説明いたします。

それでは、令和 5 年度清須市歳入歳出決算書の 103 ページを御覧ください。

認定第 2 号

令和 5 年度清須市国民健康保険特別会計決算認定について

令和 5 年度清須市国民健康保険特別会計決算について、地方自治法第 233 条第 3 項の規定により、別冊監査委員の意見を付けて、議会の認定に付する。

令和 6 年 8 月 29 日提出

清須市長、永田純夫

104ページ、105ページを御覧ください。

はじめに、歳入について御説明いたします。

1 款国民健康保険税、予算現額12億5,256万6,000円、収入済額12億4,955万721円、不納欠損額2,455万7,881円、収入未済額2億7,286万3,659円、1項国民健康保険税です。現年度課税分の徴収率は92.77%、滞納繰越分の徴収率は23.43%となりました。

2 款県支出金、予算現額41億999万8,000円、収入済額41億493万4,389円、1項県交付金です。主な内容としましては、普通交付金分として被保険者に係る療養給付費40億3,659万8,389円です。

3 款財産収入、予算現額1,000円、収入済額1円、1項財産運用収入です。

4 款繰入金、予算現額7億5,432万3,000円、収入済額7億2,784万723円、1項他会計繰入金です。主な内容としましては、職員給与費、保険基盤安定繰入金、出産育児一時金及びその他繰入金など、一般会計からの繰入金です。

5 款繰越金、予算現額1億1,982万7,000円、収入済額1億1,982万7,791円、1項繰越金です。

6 款諸収入、予算現額7,000円、収入済額1,646万8,570円、1項延滞金、加算金及び過料と2項雑入です。主な内容としましては、一般被保険者延滞金、第三者納付金及び返納金でございます。

7 款国庫支出金、予算現額0円、収入済額14万5,000円、1項国庫補助金です。内容としましては、出産育児一時金臨時補助金です。

歳入合計です。予算現額62億3,672万2,000円、収入済額62億1,876万7,195円、不納欠損額2,455万7,881円、収入未済額2億7,286万3,659円となりました。

106ページ、107ページを御覧ください。

つぎに、歳出について御説明いたします。

1 款総務費、予算現額7,594万円、支出済額6,870万4,240円、1項総務管理費から3項運営協議会費までです。主な内容としましては、職員人件費、一般管理費及び運営協議会費です。

2 款保険給付費、予算現額 4 億 2,058 万 5,000 円、支出済額 4 億 5,888 万 2,564 円、1 項療養諸費から 6 項傷病手当金までです。主な内容としましては、一般被保険者療養給付費、高額療養費、出産育児一時金及び葬祭費などです。

3 款国民健康保険事業費納付金、予算現額 1 億 5,865 万 6,000 円、支出済額 1 億 5,865 万 3,978 円、1 項医療給付費から 3 項介護納付金までです。内容としましては、一般被保険者医療給付費、後期高齢者支援金及び介護納付金で、国民健康保険事業の運営主体である愛知県に納める事業費納付金です。

4 款保健事業費、予算現額 5,551 万 1,000 円、支出済額 3,898 万 4,965 円、1 項特定健康診査等事業費と 2 項保健事業費です。内容としましては、特定健康診査等事業費及び疾病予防費です。

5 款基金積立金、予算現額 1,000 円、支出済額 1 円、1 項基金積立金です。

6 款諸支出金、予算現額 1 億 1,156 万 8,400 円、支出済額 1 億 1,156 万 8,191 円、1 項償還金及び還付加算金と 2 項繰出金です。

7 款予備費、予算現額 1,446 万 600 円、1 項予備費です。

歳出合計です。予算現額 6 億 3,672 万 2,000 円、支出済額 6 億 1,679 万 3,939 円となりました。

歳入歳出差引残額です。歳入歳出差引残額は、8,197 万 3,256 円となりました。

認定第 2 号の御説明は、以上でございます。

続きまして、認定第 4 号について御説明いたします。

決算書の 147 ページを御覧ください。

認定第 4 号

令和 5 年度清須市後期高齢者医療特別会計決算認定について

令和 5 年度清須市後期高齢者医療特別会計決算について、地方自治法第 233 条第 3 項の規定により、別冊監査委員の意見を付けて、議会の認定に付する。

令和 6 年 8 月 29 日提出

清須市長、永田純夫

148 ページ、149 ページを御覧ください。

はじめに、歳入について御説明いたします。

1 款後期高齢者医療保険料、予算現額 8 億 6,170 万 6,000 円、収入済額 8 億 6,

715万4,900円、不納欠損額231万5,700円、収入未済額771万4,200円、1項後期高齢者医療保険料です。現年度分の徴収率は99.43%、滞納繰越分の徴収率は32.69%となりました。

2款繰入金、予算現額7億9,160万3,000円、収入済額7億9,160万2,413円、1項他会計繰入金です。内容としましては、職員給与費、保険基盤安定及び療養給付費などの繰入金です。

3款繰越金、予算現額3,288万2,000円、収入済額3,288万1,350円、1項繰越金です。内容としましては、前年度繰越金です。

4款諸収入、予算現額71万7,000円、収入済額58万6,100円、1項延滞金、加算金及び過料から3項雑入までです。

歳入合計です。予算現額16億8,690万8,000円、収入済額16億9,222万4,763円、不納欠損額231万5,700円、収入未済額771万4,200円となりました。

150ページ、151ページを御覧ください。

つぎに、歳出について御説明いたします。

1款総務費、予算現額825万5,000円、支出済額715万5,703円、1項総務管理費と2項徴収費です。内容としましては、職員人件費及び一般管理費などがございます。

2款後期高齢者医療広域連合納付金、予算現額16億6,693万5,000円、支出済額16億6,268万5,735円、1項後期高齢者医療広域連合納付金です。主な内容としましては、後期高齢者医療保険料等負担金及び療養給付費負担金などです。

3款諸支出金、予算現額1,071万8,000円、支出済額1,049万5,015円、1項償還金及び還付加算金と2項繰出金です。内容としましては、一般会計への繰出金です。

4款予備費、予算現額100万円、1項予備費です。

歳出合計です。予算現額16億8,690万8,000円、支出済額16億8,033万6,453円となりました。

歳入歳出差引残高です。歳入歳出差引残高は、1,188万8,310円となりました。

認定第4号の御説明は、以上でございます。

議長（岡山 克彦君）

ここで、10時50分まで休憩といたします。

（ 時に午前10時36分 休憩 ）

(時に午前10時50分 再開)

議長 (岡山 克彦君)

休憩前に引き続き会議を開きます。

日程第6、認定第3号「令和5年度清須市介護保険特別会計決算認定について」、健康福祉部長より内容の説明を求めます。

丹羽健康福祉部長。

< 健康福祉部長 (丹羽 久登君) 登壇 >

健康福祉部長 (丹羽 久登君)

健康福祉部長の丹羽です。

認定第3号について御説明いたします。

125ページをお願いいたします。

認定第3号

令和5年度清須市介護保険特別会計決算認定について

令和5年度清須市介護保険特別会計決算について、地方自治法第233条第3項の規定により、別冊監査委員の意見を付けて、議会の認定に付する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

126、127ページを御覧ください。

はじめに、歳入について御説明いたします。

1款介護保険料、予算現額11億5,711万2,000円、収入済額11億5,987万4,777円、不納欠損額857万6,300円、収入未済額1,675万5,363円、1項介護保険料です。

2款使用料及び手数料、予算現額5万円、収入済額8万円、1項手数料です。指定居宅介護支援事業者指定更新申請手数料です。

3款国庫支出金、予算現額10億2,177万6,000円、収入済額10億3,553万294円、1項国庫負担金と2項国庫補助金です。1項国庫負担金は、国の介護給付費負担金です。2項国庫補助金の主なものは、国からの介護保険事業費補助金、調整交付金、地域支援事業交付金です。

4款支払基金交付金、予算現額13億703万3,000円、収入済額12億9,454万6,

556円、1項支払基金交付金です。

5款県支出金、予算現額7億1,569万2,000円、収入済額7億660万4,210円、1項県負担金と2項県補助金です。1項県負担金は県の介護給付費負担金、2項県補助金は地域支援事業交付金です。

6款財産収入、予算現額23万円、収入済額22万9,874円、1項財産運用収入です。介護給付費準備基金の預金利子です。

7款繰入金、予算現額8億1,910万1,000円、収入済額8億1,910万1,000円、1項他会計繰入金と2項基金繰入金です。

8款繰越金、予算現額2億768万4,000円、収入済額2億768万4,840円、1項繰越金です。

9款諸収入、予算現額98万4,000円、収入済額247万5,490円、1項延滞金、加算金及び過料と2項雑入です。

歳入合計です。予算現額52億2,966万2,000円、収入済額52億2,612万7,041円、不納欠損額857万6,300円、収入未済額1,675万5,363円となりました。

続いて、歳出について説明いたします。

128、129ページを御覧ください。

1款総務費、予算現額1億2,119万8,000円、支出済額1億1,265万2,059円、1項総務管理費から4項趣旨普及費までです。1項の主なものは、職員人件費及び一般管理費です。

2款保険給付費、予算現額46億6,714万6,000円、支出済額46億1,005万3円、1項介護サービス等費から4項特定入所者介護サービス費までです。主なものは、各種介護サービスに係る給付費です。

3款地域支援事業費、予算現額2億1,705万6,000円、支出済額1億9,450万5,205円、1項介護予防・生活支援サービス事業費から4項その他諸費までです。主なものは、1項介護予防・生活支援サービス事業費は、総合事業による訪問型サービスや通所サービスの事業費、介護予防ケアマネジメント事業費です。

4款基金積立金、予算現額1億1,019万9,000円、支出済額1億1,019万8,874円、1項基金積立金です。

5 款諸支出金、予算現額 1 億 1, 3 0 6 万 3, 0 0 0 円、支出済額 1 億 1, 2 1 9 万 9, 9 4 5 円、1 項償還金及び還付加算金と 2 項繰出金です。1 項償還金及び還付加算金の主なものは、第 1 号被保険者保険料還付金と国及び県などへの償還金です。

6 款予備費、予算現額 1 0 0 万円、支出済額はありません。

歳出合計です。予算現額 5 2 億 2, 9 6 6 万 2, 0 0 0 円、支出済額 5 1 億 3, 9 6 0 万 6, 0 8 6 円となりました。

歳入歳出差引残額です。歳入歳出差引残額は、8, 6 5 2 万 9 5 5 円となりました。

認定第 3 号の説明は、以上でございます。

議 長（岡山 克彦君）

日程第 8、認定第 5 号「令和 5 年度清須市水道事業決算認定について」及び日程第 9、認定第 6 号「令和 5 年度清須市下水道事業決算認定について」の 2 議案について、建設部長より内容の説明を求めます。

長谷川建設部長。

< 建設部長（長谷川 久高君）登壇 >

建設部長（長谷川 久高君）

建設部長の長谷川です。

それでは、認定第 5 号及び認定第 6 号について説明いたします。

令和 5 年度清須市水道事業・下水道事業決算書を御覧ください。

3 ページをお願いいたします。

認定第 5 号

令和 5 年度清須市水道事業決算認定について

令和 5 年度清須市水道事業決算について、地方公営企業法第 3 0 条第 4 項の規定により、別冊監査委員の意見を付けて、議会の認定に付する。

令和 6 年 8 月 2 9 日提出

清須市長、永田純夫

6 ページ、7 ページを御覧ください。

令和 5 年度清須市水道事業決算報告書です。

主な内容を説明します。

(1) 収益的収入及び支出、収入、第 1 款水道事業収益、予算額合計 2 億 3, 5 3 9 万 8,

000円、決算額2億2,314万3,643円、第1項営業収益から第3項特別利益までです。

支出、第1款水道事業費用、予算額合計2億3,912万4,000円、決算額2億36万578円、第1項営業費用から第4項予備費までです。

1枚はねて、8ページ、9ページを御覧ください。

(2) 資本的収入及び支出、収入、第1款資本的収入、予算額合計7,933万7,000円、決算額1,293万2,200円、第1項県補助金と第2項工事負担金です。

支出、第1款資本的支出、予算額合計1億7,638万5,000円、決算額1億1,589万1,994円、第1項建設改良費から第4その他資本的支出までです。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補填いたしました。

12ページを御覧ください。

令和5年度清須市水道事業損益計算書について説明いたします。

1営業収益計1億7,804万774円、2営業費用計1億8,480万5,201円、差引き676万4,427円の営業損失となっております。3営業外収益計2,717万1,620円、4営業外費用計223万9,451円、差引き2,493万2,169円に営業損失を合わせた1,816万7,742円が経常利益となります。5特別利益23万2,928円、6特別損失6,447円、差引き22万6,481円と経常利益を合わせた1,839万4,223円が当年度純利益となりました。

以上が、認定第5号の説明となります。

続きまして、認定第6号について説明いたします。

同じ資料の41ページをお開きください。

認定第6号

令和5年度清須市下水道事業決算認定について

令和5年度清須市下水道事業決算について、地方公営企業法第30条第4項の規定により、別冊監査委員の意見を付けて、議会の認定に付する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

44、45ページを御覧ください。

令和5年度清須市下水道事業決算報告書です。

主な内容を説明いたします。

(1) 収益的収入及び支出、収入、第1款下水道事業収益、予算額合計16億9,858万9,000円、決算額16億7,309万5,007円、第1項営業収益から第3項特別利益までです。

支出、第1款下水道事業費用、予算額合計16億1,878万8,000円、決算額15億1,911万5,569円、第1項営業費用から第4項予備費までです。

1枚はねていただきまして、46、47ページを御覧ください。

(2) 資本的収入及び支出、収入、第1款資本的収入、予算額合計24億8,213万円、決算額18億289万1,100円、第1項企業債から第5項工事負担金までです。

支出、第1款資本的支出、予算額合計33億3,311万2,000円、決算額24億1,205万394円、第1項建設改良費から第4項その他資本的支出までです。なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金などで補填いたしました。

50ページを御覧ください。

令和5年度清須市下水道事業損益計算書について説明いたします。

1営業収益計7億1,370万8,628円、2営業費用計13億2,062万9,484円、差引き6億692万856円が営業損失となります。3営業外収益計8億3,622万8,878円、4営業外費用計1億7,892万4,136円、差引き6億5,730万4,742円に営業損失を合わせた5,038万3,886円が経常利益となります。5特別利益計1,010万113円、特別利益に経常利益を合わせた6,048万3,999円が当年度純利益となりました。

認定第6号の説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

日程第10、議案第40号「清須市税条例の一部を改正する条例案」について、総務部長より内容の説明を求めます。

岩田総務部長。

< 総務部長（岩田 喜一君）登壇 >

総務部長（岩田 喜一君）

総務部長、岩田です。

議案第40号について御説明します。

それでは、タブレットのmoreNOTEの設定を2画面表示にいただき、令和6年9月

清須市議会定例会市長提出議案等の1ページと令和6年9月清須市議会定例会市長提出議案等説明資料の9ページを御覧ください。

まず、議案の1ページです。

議案第40号

清須市税条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

提案理由です。

この案を提出するのは、地方税法の一部改正に伴い、市民税の寄附金税額控除の規定の整備等を行う必要があるからです。

2ページを御覧ください。

清須市税条例の一部を改正する条例案

清須市税条例の一部を改正する条例

清須市税条例の一部を次のように改正する、

1点目は、第34条の7の改正は、市民税の寄附金税額控除の規定の整備です。公益信託の信託財産とするために支出した寄附金について、寄附金税額控除の対象とする旨を引用規定で整理するものです。

2点目は、第56条の改正は、固定資産税の非課税申告に関する規定の整理です。私立学校法の一部改正に伴い、引用条項の整理を行うものです。

3点目は、附則第4条の2の改正は、公益法人等に係る市民税の課税の特例の規定の削除です。単に課税標準の計算を定めるものであることから、規定を削除するものです。

附則です。

第1条は、施行期日です。この条例は、公益信託に関する法律の施行の日の属する年の翌年の1月1日から施行する。ただし、第56条の改正規定、2点目の固定資産税の非課税申告に関する規定の改正は、令和7年4月1日から施行する。

第2条は、市民税に関する経過措置の規定です。

議案第40号の説明は、以上です。

議 長（岡山 克彦君）

日程第 1 1、議案第 4 1 号「清須市国民健康保険条例の一部を改正する条例案」について、市民環境部長より内容の説明を求めます。

石田市民環境部長。

< 市民環境部長（石田 隆君）登壇 >

市民環境部長（石田 隆君）

市民環境部長の石田です。

議案第 4 1 号について御説明いたします。

提出議案等の 3 ページと説明資料の 1 0 ページを御覧ください。

はじめに、提出議案等の 3 ページを御覧ください。

議案第 4 1 号

清須市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和 6 年 8 月 2 9 日提出

清須市長、永田純夫

提案理由です。

この案を提出するのは、国民健康保険法の一部改正に伴い、過料に係る規定の削除等を行う必要があるからです。

4 ページを御覧ください。

清須市国民健康保険条例の一部を改正する条例案

清須市国民健康保険条例の一部を改正する条例

清須市国民健康保険条例の一部を次のように改正する。

説明資料の 1 0 ページを御覧ください。

改正内容について御説明いたします。

今回の改正は、国民健康保険の被保険者証の廃止に伴い、市が国民健康保険税を滞納している世帯主に対して被保険者証の返還を求め、これに応じない場合に処する過料に係る規定を削除するものです。

提出議案等の 4 ページに戻っていただきますと、ただいま御説明いたしました内容に変更するため、清須市国民健康保険条例第 8 条中「第 9 項」を「第 5 項」に、「若しくは虚偽の届出をした場合又は同条第 3 項及び第 4 項の規定により被保険者証の返還を求められてこれに応じない」

を「又は虚偽の届出をした」に改めるものです。

附則です。

第1項、この条例は、令和6年12月2日から施行するものです。

第2項、この条例の施行の日前にした行為及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律の一部の施行に伴う関係政令の整備等及び経過措置に関する政令第9条の規定により、なお従前の例によることとされる場合における同日以後にした行為に対する罰則の適用については、なお従前の例によるものです。

議案第41号についての御説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

日程第12、議案第42号「清須市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案」について、健康福祉部長より内容の説明を求めます。

丹羽健康福祉部長。

< 健康福祉部長（丹羽 久登君）登壇 >

健康福祉部長（丹羽 久登君）

健康福祉部長の丹羽です。

議案第42号について御説明いたします。

提出議案等の5ページと説明資料の11ページを御覧ください。

議案第42号

清須市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

提案理由です。

この案を提出するのは、生活保護法の一部改正に伴い、規定を整理する必要があるからです。

提出議案等の6ページを御覧ください。

清須市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案

清須市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例

清須市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の一部を次のように改正する。

改正の内容を御説明いたします。

説明資料の 11 ページを御覧ください。

上から 3 つ目の丸を御覧ください。

生活保護法の一部改正に伴い、別表第 1 及び別表 2 中における規定、「進学準備給付金」を「進学・就職準備給付金」へと整理するものです。

附則になります。

この条例は、公布の日から施行するものです。

議案第 42 号の説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

日程第 13、議案第 43 号「清須市下水道条例の一部を改正する条例案」及び日程第 14、議案第 44 号「名古屋都市計画事業新清洲駅北土地区画整理事業の事業委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について」の 2 議案について、建設部長より内容の説明を求めます。

長谷川建設部長。

< 建設部長（長谷川 久高君）登壇 >

建設部長（長谷川 久高君）

建設部長、長谷川です。

それでは、議案第 43 号及び 44 号について説明いたします。

市長提出議案等は 7 ページ、説明資料は 12 ページをお願いします。

議案第 43 号

清須市下水道条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和 6 年 8 月 29 日提出

清須市長、永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、アナログ規制の見直しを図るとともに、下水道法施行令の一部改正に伴い、規定を整理する必要があるからです。

提出議案等の 8 ページを御覧ください。

清須市下水道条例の一部を改正する条例案

清須市下水道条例の一部を改正する条例

清須市下水道条例の一部を次のように改正する。

内容につきましては、説明資料 1 2 ページより説明いたします。

第 6 条において、アナログ規制の見直しにより、排水設備工事の責任技術者を「専属させる」ことから「選任する」ことへ緩和するとともに、第 1 1 条では、大腸菌の培養技術が確立されたことを踏まえ、下水道法施行令の一部改正により、「大腸菌群」に代えて、よりの確にふん便汚染を捉えることができる指標である「大腸菌数」を用いることとされたため、関連する規定を整理するものです。

施行期日は、令和 7 年 4 月 1 日です。

説明は、以上となります。

引き続き議案第 4 4 号について説明いたします。

提出議案は 9 ページ、説明資料は 1 3 ページをお願いいたします。

議案第 4 4 号

名古屋都市計画事業新清洲駅北土地区画整理事業の事業委託に関する基本協定の一部を変更する協定の締結について

下記のとおり名古屋都市計画事業新清洲駅北土地区画整理事業の事業委託に関する基本協定の一部を変更する協定を締結することについて、地方自治法第 9 6 条第 1 項第 5 号の規定により、議会の議決を求める。

表の説明をいたします。

協定期間、「平成 2 7 年度から令和 7 年度まで」を「平成 2 7 年度から令和 6 年度まで」に変更するものです。

令和 6 年 8 月 2 9 日提出

清須市長、永田純夫

内容につきましては、平成 2 7 年度に事業委託に関する基本協定を締結した後、令和 3 年に鉄道高架事業の進捗に合わせた事業展開の見直しにより、事業期間の延伸をいたしました、その

後、工期短縮に努め、事業期間を短縮することができたため、再度、期間変更をするものです。

説明は、以上となります。

議長（岡山 克彦君）

日程第15、議案第45号「愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について」、市民環境部長より内容の説明を求めます。

石田市民環境部長。

< 市民環境部長（石田 隆君）登壇 >

市民環境部長（石田 隆君）

市民環境部長の石田です。

議案第45号について御説明いたします。

提出議案等の11ページと説明資料の14ページを御覧ください。

はじめに、提出議案等の11ページを御覧ください。

議案第45号

愛知県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について

地方自治法第286条第1項の規定により、愛知県後期高齢者医療広域連合規約を変更することについて、関係地方公共団体と協議するため、同法第290条の規定により、議会の議決を求める。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

12ページを御覧ください。

愛知県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約案

愛知県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約

愛知県後期高齢者医療広域連合規約の一部を次のように変更する。

それでは、説明資料の14ページを御覧ください。

変更内容について御説明いたします。

後期高齢者医療における市町村で処理する事務について、令和6年12月2日以降、被保険者証からマイナ保険者証に切り替わることに伴い、これまでの「被保険者証及び資格証明書の引渡し・返還の受付」がなくなり、新たに「資格確認書等の引渡し・返還の受付」が生じるため、変更を行うものです。

提出議案の12ページに戻っていただきますと、ただいま御説明いたしました市町村で処理する事務内容の変更に伴い、別表第1中「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改めるものです。

附則としまして、この規約は、令和6年12月2日から施行するものです。

議案第45号についての御説明は、以上でございます。

議長（岡山 克彦君）

日程第16、議案第46号「市道路線の認定及び廃止について」及び日程第17、議案第47号「令和5年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分について」の2議案について、建設部長より内容の説明を求めます。

長谷川建設部長。

< 建設部長（長谷川 久高君）登壇 >

建設部長（長谷川 久高君）

建設部長、長谷川です。

それでは、議案第46号及び47号について説明いたします。

市長提出議案の13ページ、説明資料は15ページを御覧ください。

議案第46号

市道路線の認定及び廃止について

市道路線の認定及び廃止をすることについて、道路法第8条第2項及び同法第10条第3項において準用する同法第8条第2項の規定により、議会の議決を求める。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

提案理由

この案を提出するのは、市道停車場線の一部を県道へ移管することによる道路の改築等に伴い、市道路線の認定及び廃止を行うため必要があるからです。

最初に、廃止する路線から説明いたします。

廃止路線は、提出議案等の17ページを御覧ください。

17ページ記載の路線番号8、停車場線と路線番号1371、旭17号線です。

次の19ページを御覧ください。19ページが、廃止路線の詳細図となります。停車場線は図面の下側、県道給父西枇杷島線旭二丁目北交差点が起点で、JR枇杷島駅の西口広場と西枇杷島

中学校の間を通り、新川堤防までの延長約730メートルの路線でした。今般、旭二丁目北交差点からJR枇杷島駅西口広場までの道路拡幅工事が完成したため、完成部分を県道に移管するものです。

新たに認定する路線につきましては、戻っていただきまして、提出議案等の14ページを御覧いただきまして、路線番号8、停車場線始め記載の4路線となります。16ページが、認定路線の詳細図です。先ほど説明いたしましたとおり、道路拡幅工事が完成し、完成した部分を県道に移管して、それ以外の部分を新たに認定し直すためのものです。

説明は、以上となります。

続きまして、議案第47号について説明いたします。

市長提出議案は21ページ、説明資料は16ページをお願いします。

議案第47号

令和5年度清須市水道事業未処分利益剰余金の処分について

下記のとおり令和5年度清須市水道事業未処分利益剰余金を処分することについて、地方公営企業法第32条第2項の規定により、議会の議決を求める。

表の説明をいたします。

令和5年度末の未処分利益剰余金残高8,683万1,351円のうち、既に補填財源として執行した2,724万6,657円を資本金に組み入れ、残余である5,958万4,694円を未処分利益剰余金として繰り越すものです。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

説明は、以上となります。

議長（岡山 克彦君）

日程第18、議案第48号「令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）案」について、総務部長より内容の説明を求めます。

岩田総務部長。

< 総務部長（岩田 喜一君）登壇 >

総務部長（岩田 喜一君）

総務部長、岩田です。

議案第48号について御説明します。

それでは、タブレットのmoreNOTE設定を1画面表示にさせていただき、令和6年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書の1ページを御覧ください。

議案第48号

令和6年度清須市一般会計補正予算（第2号）

令和6年度清須市の一般会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正です。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億6,822万8,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ310億339万5,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

第2条は、地方債の補正です。

地方債の変更は、「第2表 地方債補正」による。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

2ページを御覧ください。

第1表、歳入歳出予算補正です。

まず、歳入です。

10款地方特例交付金、補正額1,293万3,000円の増額、1項地方特例交付金です。住宅ローン減税と定額減税の減収補填分の額の決定に伴う増額補正です。

11款地方交付税、補正額5億706万8,000円の増額、1項地方交付税です。普通交付税の額の決定に伴う増額補正です。

15款国庫支出金、補正額5,974万1,000円の増額、1項国庫負担金と2項国庫補助金です。主なものは、過年度の精算に伴う増額5,475万9,000円を始め2項国庫補助金のうち、土木費国庫補助金247万2,000円の増額は、この後、歳出で説明をする民間木造住宅耐震化促進費に充当する特定財源です。

16款県支出金、補正額171万5,000円の増額、1項県負担金と2項県補助金です。主なものは、過年度の精算に伴う増額47万9,000円を始め2項県補助金のうち、土木費県補助金123万6,000円の増額は、土木費国庫補助金と同様に、民間木造住宅耐震化促進費に充当する特定財源です。

18款寄附金、補正額110万円の増額、1項寄附金です。企業版ふるさと納税寄附金100万円の新規計上と社会福祉事業への指定寄附10万円の増額です。

19款繰入金、補正額10億9,244万円の減額、1項特別会計繰入金と2項基金繰入金です。1項特別会計繰入金8,020万1,000円の増額は、各特別会計の前年度決算確定に伴う精算金の繰入れです。2項基金繰入金の主なものは、今までに予定した財政調整基金の繰入れの一部を取りやめる財政調整基金繰入金11億7,264万1,000円の減額です。本補正後の財政調整基金の現在高は、22億5,271万円となります。

20款繰越金、補正額7億8,005万1,000円の増額、1項繰越金です。

21款諸収入、補正額2,006万円の増額、5項雑入です。

22款市債、補正額7,800万円の増額、1項市債です。

詳細は、第2表、地方債補正で説明をします。

3ページを御覧ください。

歳出です。

2款総務費、補正額297万3,000円の増額、1項総務管理費と3項戸籍住民基本台帳費です。主なものは、3項戸籍住民基本台帳費は、戸籍法の一部改正に伴う振り仮名を通知する機能追加のための戸籍システム管理費は、176万円を増額計上しました。

3款民生費、補正額1億2,047万円の増額、1項社会福祉費から3項生活保護費までです。主なものは、3項生活保護費のうち、生活保護法の一部改正に伴う被保護世帯の高卒就職者の新生活立ち上げ費用支給などに係るシステム改修のための生活保護事務費は、198万円を増額計上しました。

4款衛生費、補正額5,697万8,000円の増額、1項保健衛生費です。

7款商工費、補正額2,695万円の増額、1項商工費です。外国人観光客の増額に対応したトイレの洋式化及び障がい者が利用しやすい多目的トイレブース設置のための清洲ふるさとのやかた整備費を新規計上しました。

8款土木費、補正額494万4,000円の増額、4項都市計画費です。令和6年能登半島地震の発生を受けて木造住宅の耐震化に係る関心が高まったことに伴い、不足が見込まれる民間木造住宅耐震化促進費を増額計上しました。

10款教育費、補正額1億5,571万3,000円の増額、2項小学校費及び3項中学校費です。主なものは、2項小学校費は、清洲東小学校、新川小学校、星の宮小学校及び春日小学校

の特別教室の空調設置工事を電気式からガス式に変更したことに伴う整備費1億3,009万7,000円を増額計上しました。

4ページを御覧ください。

第2表、地方債補正の変更です。

まず、観光施設整備事業の限度額の変更です。補正前は限度額2,800万円を計上していましたが、清洲ふるさとのやかたのトイレ改修に伴い2,500万円を増額し、補正後は限度額を5,300万円とするものです。

つぎに、小学校整備事業の限度額の変更です。補正前は限度額7,100万円を計上していましたが、4校の特別教室の空調設置工事を電気式からガス式に変更したことに伴い5,400万円を増額し、補正後は限度額を1億2,500万円とするものです。

最後に、臨時財政対策債の限度額の変更です。補正前は限度額9,000万円を計上していましたが、発行可能額の確定に伴い100万円を減額し、補正後は限度額を8,900万円とするものです。

議案第48号の説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

日程第19、議案第49号「令和6年度清須市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案」及び日程第21、議案第51号「令和6年度清須市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案」の2議案について、市民環境部長より内容の説明を求めます。

石田市民環境部長。

< 市民環境部長（石田 隆君）登壇 >

市民環境部長（石田 隆君）

市民環境部長の石田です。

議案第49号について御説明いたします。

令和6年度一般会計・特別会計補正予算書及び説明書の21ページを御覧ください。

議案第49号

令和6年度清須市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

令和6年度清須市の国民健康保険特別会計補正予算（第2号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6,268万7,000円を追加し、歳入歳

出予算の総額を歳入歳出それぞれ63億3,554万6,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

22ページを御覧ください。

第1表、歳入歳出予算補正です。

はじめに、歳入について御説明いたします。

4款繰入金、補正額71万4,000円の増額、1項他会計繰入金です。

5款繰越金、補正額6,197万3,000円の増額、1項繰越金です。

23ページを御覧ください。

つぎに、歳出について御説明いたします。

3款国民健康保険事業費納付金、補正額71万4,000円の増額、1項医療給付費から3項介護納付金までです。県事業費納付金本算定に基づき、医療給付金、後期高齢者支援金及び介護納付金を精査し、令和6年度県事業費納付金を増額するものです。

6項諸支出金、補正額6,197万3,000円の増額、1項償還金及び還付加算金と2項繰出金です。令和5年度国民健康保険特別会計の精算に伴う一般会計への繰出金です。

議案第49号の説明は、以上です。

続きまして、議案第51号について御説明します。

補正予算書及び説明書の45ページを御覧ください。

議案第51号

令和6年度清須市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

令和6年度清須市の後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3,198万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ19億1,949万円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

46ページを御覧ください。

第1表、歳入歳出予算補正です。

はじめに、歳入について御説明いたします。

2款繰入金、補正額2,009万8,000円の増額、1項他会計繰入金です。

3款繰越金、補正額1,188万7,000円の増額、1項繰越金です。

47ページを御覧ください。

歳出について御説明いたします。

2款後期高齢者医療広域連合納付金、補正額3,198万5,000円の増額、1項後期高齢者広域連合納付金です。令和5年度後期高齢者医療保険料等負担金の精算及び療養給付費負担金の確定に伴う後期高齢者医療広域連合への負担金の増額でございます。

議案第51号の御説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

日程第20、議案第50号「令和6年度清須市介護保険特別会計補正予算（第1号）案」について、健康福祉部長より内容の説明を求めます。

丹羽健康福祉部長。

< 健康福祉部長（丹羽 久登君）登壇 >

健康福祉部長（丹羽 久登君）

健康福祉部長の丹羽です。

議案第50号について説明いたします。

それでは、補正予算書の33ページを御覧ください。

議案第50号

令和6年度清須市介護保険特別会計補正予算（第1号）

令和6年度清須市の介護保険特別会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

第1条は、歳入歳出予算の補正です。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,934万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ53億5,516万9,000円とする。

第2項、歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第1表 歳入歳出予算補正」による。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

34ページを御覧ください。

第1表、歳入歳出予算補正です。

まず、歳入を御説明いたします。

3款国庫支出金、補正額62万3,000円の増額、1項国庫負担金です。

5款県支出金、補正額200万7,000円の増額、1項県負担金です。

8款繰越金、補正額8,651万9,000円の増額、1項繰越金です。

9款諸収入、補正額20万円の増額、2項雑入です。

35ページを御覧ください。

歳出を御説明いたします。

4款基金積立金、補正額5,385万2,000円の増額、1項基金積立金です。精算による介護給付費準備金積立金です。

5款諸支出金、補正額3,549万7,000円の増額、1項償還金及び還付加算金と2項繰出金です。第1項は、精算に伴う国庫・県支出金の返還金です。

議案第50号の説明は、以上です。

議長（岡山 克彦君）

日程第22、報告第5号「令和5年度清須市決算の健全化判断比率等について」及び日程第23、報告第6号「専決処分した事件の報告について」の2件の案件について、総務部長より内容の説明を求めます。

岩田総務部長。

< 総務部長（岩田 喜一君）登壇 >

総務部長（岩田 喜一君）

総務部長、岩田です。

報告第5号及び報告第6号について続けて御説明します。

それでは、市長提出議案等の23ページを御覧ください。

まず、報告第5号です。

報告第5号

令和5年度清須市決算の健全化判断比率等について

令和5年度清須市決算の健全化判断比率及び資金不足比率について、地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定により、別冊監査委員の意見を付けて、議会に報告する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

24ページを御覧ください。

上段1は、令和5年度清須市決算の健全化判断比率です。

表を御覧ください。

実質赤字比率及び連結実質赤字比率は共に赤字が生じていないため、それぞれ比率は算出されませんでした。

実質公債費比率は標準財政規模が増加しているものの、一般会計や下水道事業会計などの元利償還金が増加しているため、前年度比プラス0.5ポイントの2.3%となりました。

将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回るため、比率は算出されませんでした。

健全化判断比率は、それぞれ早期健全化基準を大幅に下回っています。

下段の2は、令和5年度清須市決算の資金不足比率です。

表を御覧ください。

水道事業会計及び下水道事業会計は共に資金不足を生じていないため、それぞれ比率は算出されませんでした。資金不足比率は、水道事業会計及び下水道事業会計ともに経営健全化基準を大幅に下回っています。

報告第5号の説明は、以上です。

つぎに、報告第6号です。

25ページを御覧ください。

報告第6号

専決処分した事件（和解すること）の報告について

地方自治法第180条第1項の規定により、専決処分した事件、議会で指定された100万円以下の事案となりますが、について、同条第2項の規定により、議会に報告する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

26ページを御覧ください。

和解することについて、総務部所管分1件です。

専決処分年月日は令和6年6月6日、発生年月日は令和5年7月19日です。

相手方の住所及び氏名は記載のとおりです。

事件概要です。

清須市阿原宮東43番地先の道路において、道路右側に停車していた相手方の自動車の左側を市職員が公用車にて通過しようとしたところ、相手方の自動車が発進したため、公用車を急停車させたが、相手方の自動車が本市の公用車に衝突し、双方に物的損害が生じたものです。

なお、当方の過失割合は5%ですが、相手方が損害賠償請求権を放棄したため、市が支払うべき過失割合5%分の損害賠償金は発生しません。

報告第6号の説明は、以上です。

以上で、報告第5号及び報告第6号の説明を終わります。

議長（岡山 克彦君）

日程第24、報告第7号「専決処分した事件の報告について」、建設部長より内容の説明を求めます。

長谷川建設部長。

< 建設部長（長谷川 久高君）登壇 >

建設部長（長谷川 久高君）

建設部長、長谷川です。

それでは、報告第7号について説明いたします。

市長提出議案の27ページをお願いいたします。

報告第7号

専決処分した事件（損害賠償の額を定め、和解すること）の報告について

地方自治法第180条第1項の規定により、専決処分した事件について、同法第2項の規定により、議会に報告する。

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

28ページを御覧ください。

損害賠償の額を定め、和解することについて、建設部の所管となります。

専決処分年月日は令和6年2月29日、発生年月日は令和6年2月17日です。

相手方の住所・氏名につきましては記載のとおりでございます、損害賠償額は3万635円です。

事件概要です。

清須市清洲1497番1地先の道路において、当該道路に開いていた穴が原因となる自動車のタイヤ及びホイールの損傷事故が発生し、相手方に物的損害を与えたもので、保険で対応しております。

報告第7号の説明は、以上となります。

議長（岡山 克彦君）

日程第25、発議第2号につきましては、本日、提案理由及び内容を受けるのみで散会し、建設文教常任委員会に審査を付託したいと思います。

このような進め方でございますが、これに御異議ございませんか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

議長（岡山 克彦君）

異議なしと認めます。

よって、ただいま申し上げました方法で行うことに決定いたします。

日程第25、発議第2号「定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）」を議題といたします。

提出者であります林議員より提案理由及びその内容の説明を求めます。

説明は、発言席でお願いいたします。

林議員。

< 14番議員（林 真子君）登壇 >

14番議員（林 真子君）

議席14番、林真子でございます。

発議第2号の意見書案の内容について説明させていただきます。

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）

このことについて、別紙のとおり意見書を提出するものとする。

令和6年8月29日提出

提出者、清須市議会議員、林真子

賛成者、清須市議会議員、成田義之、浅井泰三、久野茂、伊藤嘉起、加藤光則、大塚義之、松

岡繁知

1枚はねていただきまして、意見書（案）を朗読し、提案理由の説明とさせていただきます。

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書（案）
未来を担う子どもたちが夢や希望を持ち、健やかに成長していくことは、全ての国民の切なる願いである。しかし、学校現場では、子どもたちの健全育成に向けて、日々真摯に教育活動に取り組んでいるものの、いじめや不登校など子どもたちを取り巻く教育課題は、依然として解決されていない。また、特別な支援や日本語教育を必要とする子どもも多く、一人一人に応じた適切な支援を行うための十分な時間が確保できないなどの課題にも直面している。

本年度も政府予算において、小学校における高学年の教科担任制の強化や35人学級の計画的な整備などのための教職員定数改善が盛り込まれた。しかし、中学校における少人数学級の推進や教職員定数改善計画は示されておらず、子どもたちの健やかな成長を支えるための施策としては不十分なものであると言わざるを得ない。

少人数学級は、地域・保護者からも一人一人の子どもにきめ細かな対応ができるという声が多く聞かれる。山積する課題に対応し、全ての子どもたちに行き届いた教育を行うためにも、少人数学級の更なる拡充を含めた定数改善計画の早期策定・実施が不可欠である。

また、子どもたちが全国どこに住んでいても均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、三位一体改革により、義務教育費国庫負担制度の国庫負担率は2分の1から3分の1に引き下げられたままであり、自治体の財政は圧迫されている。教育の機会均等と水準確保のために、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国庫負担率を2分の1へ復元することは、国が果たさなければならない大きな責任の一つである。

よって、貴職においては、来年度の政府予算編成に当たり、定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元に向けて十分な教育予算を確保されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出する。

令和6年〇月〇日

清須市議会

内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣宛

以上でございます。

議員各位におかれましては、慎重に御審議の上、御賛同いただきますようお願いいたします。

以上で説明を終わります。

議長（岡山 克彦君）

日程第26、請願第1号『「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准をするよう清須市議会からの意見書」提出を求める請願』を議題といたします。

紹介議員であります加藤議員より内容の説明を求めます。

説明は、発言席でお願いいたします。

加藤議員。

< 15番議員（加藤 光則君）登壇 >

15番議員（加藤 光則君）

議席番号15番、加藤光則です。

請願第1号

『「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准をするよう清須市議会からの意見書」提出を求める請願』の内容について説明させていただきます。

請願者、清須市西枇杷島町大黒69番地、新日本婦人の会清須支部、水谷千恵子

紹介議員、清須市新清洲四丁目5番地13、加藤光則です。

では、請願趣旨を述べさせていただきます。

私たちが住んでいる清須市は、非核・平和都市宣言をしています。

この宣言の市にふさわしく、毎年、小学6年生が平和学習研修の取組をしています。令和5年度も24人の児童が、8月6日の広島平和記念式典に参列し、清須市内の小中学生の児童生徒が折った折り鶴を原爆の子の像にささげ、平和を祈りました。現地ボランティアガイドの案内を受け、核爆弾の実相を知り、平和への強い願いを伝えていこうという思いが、清須市立小学校児童平和推進派遣研修文集に掲載されています。

子どもたちの未来に、二度と核爆弾が落とされることがあってはなりません。被爆国日本が核兵器禁止条約を署名・批准し、世界の核兵器禁止への流れを進めていくことが、子どもたちの願いに応えるものです。

以上の趣旨から、地方自治法第124条の規定により、下記の事項について請願をします。

請願事項

日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会で批准することを求める意見書を国会及び政府に提出すること。

議員におかれましては、御審議の上、御賛同賜りますようお願いいたします。

以上です。

議長（岡山 克彦君）

この請願につきましては、会議規則第37条及び第130条の規定により、質疑を省略し、総務常任委員会に審査を付託いたします。

お諮りします。

当局から、議案第52号「動産の取得について（追認）」が提出されております。

これを日程に追加し、追加日程第1として議題にしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声あり ）

議長（岡山 克彦君）

異議なしと認め、議案第52号「動産の取得について（追認）」を日程に追加し、追加日程第1として議題とすることに決定いたしました。

なお、追加日程第1、議案第52号につきましても、本日は提案理由及び内容説明を受けるのみとし、質疑のある方は9月2日正午までに発言通告書を提出していただき、9月5日の本会議において質疑を行った後、所管の常任委員会に審査を付託したいと思います。これに御異議ございませんか。

（ 「異議なし」の声あり ）

議長（岡山 克彦君）

異議なしと認めます。

よって、ただいま申し上げました方法で行うことに決定いたします。

追加日程第1、議案第52号「動産の取得について（追認）」を議題といたします。

市長より提案理由の説明を求めます。

永田市長。

< 市長（永田 純夫君）登壇 >

市長（永田 純夫君）

それでは、本日、追加提案いたしました案件につきまして、提案理由を御説明申し上げます。

議案第52号「動産の取得（追認）」につきましては、有限会社武藤清洲店と小学校教師用教科書・指導書等の取得に係る契約を締結することについて、地方自治法の規定により、議会の議

決を求めるものでございます。

今回このような提案に至り、誠に申し訳ございませんでした。

詳細につきましては、担当から説明させますので、十分御審議の上、御賛同賜りますようお願いを申し上げます。

議長（岡山 克彦君）

続いて、教育部長より内容の説明を求めます。

石黒教育部長

< 教育部長（石黒 直人君）登壇 >

教育部長（石黒 直人君）

教育部長の石黒でございます。

議案第52号について御説明いたします。

令和6年9月清須市議会定例会市長提出議案追加提案併せて市長提出議案説明資料追加提案をお願いいたします。

まず、提出議案の1ページをお願いいたします。

議案第52号

動産の取得について（追認）

下記のとおり動産を取得することについて、地方自治法第96条第1項第8号の規定により、議会の議決を求める。

記

1、令和2年度分

（1）取得する動産、小学校教師用教科書指導書

（2）契約の方法、随意契約

（3）契約の金額、4,243万3,757円

（4）契約の相手方、愛知県清須市清洲546番地、有限会社武藤清洲店、代表取締役武藤哲

哉

2、令和6年度分

（1）取得する動産、小学校教師用教科書・指導書等

（2）契約の方法、随意契約

（3）契約の金額、5,275万4,705円

(4) 契約の相手方、愛知県清須市清洲546番地、有限会社武藤清洲店、代表取締役武藤哲哉

令和6年8月29日提出

清須市長、永田純夫

2ページを御覧ください。

取得する動産の概要でございます。

上段の表は令和2年度分、下段の表は令和6年度分で、それぞれ清須市立小学校8校の教師用の教科書、指導書、デジタル教科書等の購入でございます。

次に、市長提出議案説明資料の1ページをお願いいたします。

一つ目の丸、概要でございます。

清須市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定により、予定価格が2,000万円以上の財産(動産)の取得については、議会の議決を経て取得すべきところ、小学校の教師用教科書、指導書等について、議会の議決を経ず取得していたことが判明したため、追認を求めるものでございます。

議案第52号の説明は、以上でございます。

議長(岡山 克彦君)

以上で、本日の会議日程は、全て終了いたしました。

これをもちまして、本日は散会といたします。

なお、次回の本会議は、9月2日月曜日午前9時30分から再開いたします。

早朝より大変御苦勞さまでした。

(時に午後 0時04分 散会)